

先天性の右側股関節脱臼があります。最近  
は痛みに歩きにくさが加わり、人工関節の手術  
をするか迷っています。検査で骨盤に空洞  
があることが分かりました。最小侵襲手術や  
ロボット手術もあると聞きますが、私のような  
なケースは対象になりますか。(70歳、女性)

### 人工股関節全置換術



橋本慎吾医師

「質問いただいた症状は、変  
形性股関節症に伴う股関節の痛  
みと推察します。この股関節症  
の原因はさまざまですが、日本

## 技術進歩で脱臼リスク軽減

作に支障をきたします。  
まずは股関節周囲筋や体幹の  
トレーニング、痛み止めや外用  
薬で経過を見ますが、症状の改  
善が乏しい場合や日常生活動作  
に支障がある場合は手術加療を  
検討します。比較的若い方では  
人工股関節の耐久年数を考慮  
し、骨盤骨切り術などの関節温

関節症や大腿骨頭壊死症、関節  
リウマチに伴う関節痛に非常に  
有効な治療法です。最近では負  
担の少ない低侵襲手術、先端機  
器を用いたナビゲーションやロ  
ボットを併用した手術が積極的  
に行われています。低侵襲手術  
は筋力が温存されるので術後回  
復が早く、脱臼リスクが軽減さ

るので、痛みが持続して日常生活  
動作に支障がある場合は主治医  
の先生とご相談されることをお  
勧めします。  
(兵庫県整形外科医会、橋本慎  
吾 西宮市、はしもと整形外科  
リハビリクリニック院長)  
◇第1、3、4日曜に掲載し  
ます。

では生まれつき股関節の被覆が  
小さい「寛骨臼形成不全」が最  
も多いと報告されています。変  
形性股関節症は軟骨や関節唇と  
いった股関節のクッションが徐  
々に劣化、摩耗し、大腿骨と骨  
盤の骨同士がぶつかることで痛  
みが生じます。股関節痛や可動  
域制限が進行すると日常生活動

存手術が第一選択になります。  
一方で、骨切り術の適応外の方  
や高齢の方については人工股関  
節全置換術を行います。  
人工股関節全置換術は、痛ん  
だ股関節を人工物に置換するこ  
とで疼痛を除去する手術です。  
痛みの軽減や可動域の改善が期  
待される手術であり、変形性股

れることが期待されます。ロボ  
ットなどのテクノロジは手術  
計画を正確に再現し、脱臼リス  
クを軽減することが可能です。  
以前と比較すると人工股関節  
全置換術の技術は飛躍的に進歩  
しており、手術時間や入院期間  
も短縮されています。高度な変  
形や骨の欠損にも対応可能で